

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和2年度第2回理事会議事録

1. 開催日時：令和2年5月19日（火）19：00～21：30

2. 会 場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 15名 定足数 8名

4. 出席理事数 14名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、本宮光信、茄子川知浩、矢野秀典
赤坂清和、原田慎一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩、高宮尚之、田澤俊亮

欠席理事： 細井俊希

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：清宮清美

欠席監事：前園徹

6. 出席部長・エリア長・委員長

塚田陽一

7. 出席部員

西岡幸哉(書記)

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

「令和元年度事業報告について」

「令和元年度決算報告について」

「令和元年度監査報告について」

<計画外審議>

なし

<報告事項>

「LINE WORKS 審議」

<その他事項>

「コロナ感染症対策に伴う県士会活動の在り方について」

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し問題なく進行できることが確認された。

議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

- ・令和元年度事業報告について

特に質問事項なし

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

- ・令和元年度決算報告について

議長の求めに応じ、本宮財務局長から補足説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

本宮：余剰金を使用して赤字があったものの問題なかった。

南本：予算執行が滞りなく行えた。今年度からは余剰金が無いため予算と決算についてしっかり見ながら実施してほしい。また、コロナの影響で予算の組み換えが生じる可能性があるので報告等、予算執行をしっかりとしていきたいので各部局協力願いたい。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

- ・令和元年度監査報告について

議長の求めに応じ、清宮監事から補足説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

清宮：特に大きな問題点ない。ただしオリパラが延期されたので次年度頑張っていたきたい。

南本：昨年度の指摘事項で未払い金についてあったがどうか。

清宮：今年度回収方法が変わったので多少改善されたと考えている。

赤坂：総会資料にて決算報告が貸借対照表としか記載されていないのでわかりづらい。

南本：今後検討していく。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

<計画外審議事項>

なし

<報告事項>

- ・LINE WORKS 審議

<その他事項>

- ・コロナ感染症対策に伴う県士会活動の在り方

資料に基づき、南本会長より説明があった。

また資料説明に引き続き、次の質疑応答があった。

原田：メルマガ登録者数は現状 3000 人程度。

南本：会員数約 5000 人に対して 3000 人なのでそこに情報発信してそこから先は口コミで広がればよい。

南本：理事からメルマガを利用してリレーメッセージを行いたい。

原田：メルマガの容量について A4 1 枚程度だと長い。メール自体に載せる容量は字数を計算する。

阿久澤：県民に向けた情報発信として、疾患・対象者別に運動等の情報が見ることができるよう
に作成中。

南本：スピード感を持って対応していくことが大事。時期によって対応が変わってきている。

岡持：時期によって違う対応を次のフェーズ、未来を見ながら阿久澤さんには作成してもらって
いる。これは非常に良い取り組み。

南本：そのまま進めてください。茄子川さんも協力しながらお願いします。

南本：いい機会として患者さんがタブレット端末等を使えるようになるような退院支援も必要
な活動かもしれない。県士会としてもどのようなことを必要とされているのか調査する
必要がある。また、本日承認されたコロナ感染症における在り方検討委員会でも各部局と
協力しながら対応していく。

岡持：半年間、県士会事業をまったく行わないと会員が所属している意味がなくなる。病院の減
収による給料減少や採用数の減少も予想されるためその観点も含めて情報発信できると
会員になっている意味にも繋がる。

吉川：今後研修をどうおこなっていくかも含めて発信していく必要がある。

阿久澤：例年通りの満足度を感じてもらえるだけの活動できるかわからない。

そこから考えると来年度の会費減額も考えてもいいのではないかな。

南本：三役でも検討しているが、現段階では時期尚早。

清宮：PT 協会としても検討中。

赤坂：お金で返すのも一案だが、活動として返す等様々な方法での会員への返し方があるので検
討すべき。

阿久澤：各先生方から若い頃学んだ内容などの情報発信もしてもいいのではないかな。

赤坂：県学会に、普段呼べない著名な先生方呼ぶのも面白いのではないかな。

南本：県士会として具体的に話が伝わるように、減額の件も含めてできるだけ早く動ければ。

岡持：コロナに対応している施設の会員からまだ対応があまりない施設の会員へ向けての情報
発信もあってもいいのではないかな。

赤坂：会員に伝えたいのは我々の気持ちやハートの部分。原田さんには負担になって申し訳ない
が、我々のハートが伝わるようなビデオメッセージもやってもいいのではないかな。

原田：それは現状のシステムでも可能。容量については確認が必要。

南本：文字によるリレーメッセージとともに、メルマガに URL を貼る形でビデオメッセージも
やってみましょう。

吉川：早い方がいいが、しっかりとした準備は必要。

赤坂：スピード感が必要。全員が満足できるような形は難しいので色々な方法でできればよいの
ではないかな。

南本：福利厚生制度に関しては水田副会長とともに検討して今後相談する。

岡持：具体的にどのような条件を整えて住民の通いの場や地域ケア会議を提供すればよいのか
等、県庁等の調整ができ次第、県士会のホームページにアップする。

南本：クラスターが発生しては元も子もないので、慎重にやらなければならないこともあるが情
報発信はしていきたい。

高宮：南部ブロックでは各エリアで web 会議を実施した。具体的には 9 月までに 1 回は web 研修会を実施して、懇親会も実施したいと考えている。

田澤：具体的にどうしていくかは試してやっていくしかない。市民向けの公開講座等、開催規模などのくらいだったらよいのか等規定がないので各エリアで検討していくしかないか。

南本：県民啓発活動に関しては、今年度に関しては対面的にはできなくても情報発信できればよいと考えている。対面ができるかどうかは、各市町村や埼玉県含めた自治体単位での判断も必要。また今後示されると思われる基準を参考にするしかない。県士会だけでその判断は現状できないと考えている。

吉川：西部は web 会議自体も行えていない。公開講座等、県民啓発の部分はポスター等回覧できるようなやり方も考えてもいいのではないか。また、研修等すでに組んでいる予算に関してはどうしたらよいか。

南本：予算に関して、啓発方法を変えて予算を切り替える、組み替えるのは良い発想。また、今回の予算に関しては余ったら余ったでよい。したがって必要なもの必要な分をかけられればよい。

櫻場：東部ブロックも web 会議等行えていない。もともと考えていた事業は開催が難しいことが考えられ、どのように対応していくかは今後検討していく。

南本：web 会議の利用もできるので、業務後に短時間でおこなっている会議や研修会も含めて、ブロック会議等やりましょう。

南本：ブロックの連絡に関しては岡持さん、研修に関しては田口さん、それ以外のことは現状南本まで。

リレーメッセージの提案について出席理事全員一致で行う事とする。

・その他報告事項

南本：2022 年に埼玉で関ブロ学会予定だが、2023 年の東京と入れ替えになる可能性がある。決まり次第報告する。

本宮：日当の振り込み先の件があるので平井さんへ連絡をお願いします。

以上をもって議案の審議等を終了したので、21 時 35 分、議長は閉会を宣し、解散した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印